

# [4] 制御不能な感染症の拡大

関連の深いSDGs:



参考情報(吹き出し)の凡例:

\*\*\* 量的インパクト大  
\*\* 量的インパクト中  
\* 量的インパクト小  
無印 その他

先行事例の凡例:

社会実装段階 実証段階 研究段階 技術以外のアプローチ

## 課題の背景 社会課題・ニーズ 技術の体系化 先行事例

感染症については、森林開発や気候変動等により動物等を媒介とする感染症のリスクが増大し、また交通等の発達に伴う人の交流・移動の増大によるグローバル化の進展等により、限定的な地域での感染にとどまらず、国内での感染拡大、さらには国境を越えて国際社会全体に感染が拡大する事態が発生しやすくなっており、今後、エボラ出血熱やMERS以外にも様々な新興・再興感染症も国際的に脅威となるおそれがある(関係閣僚会議, 2016)

抗生物質や抗ウイルス剤等を使用してきた結果、それらに耐性を持つ病原体が急激かつ制御不能な感染症を引き起こす(世界経済フォーラム)

従来型の抗生物質に耐性を持つ細菌やウイルスが続々と生じ、その感染症による被害が世界的に増加傾向にある(仏経済学者ジャック・アタリ)

世界では薬物に耐性を持つ菌種(HIV、結核菌、マラリア)が原因で、毎年70万人が死亡していると推測される(仏経済学者ジャック・アタリ, 2017)

これまでにないタイプの新型インフルエンザは、20世紀初めに人類のおよそ5%が犠牲になった「スペイン風邪」と同じくらいの猛威を振るう恐れがある(仏経済学者ジャック・アタリ, 2017)

